

みずほCustomer Desk Report 2016/12/07 号(As of 2016/12/06)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値	113.62
					GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	113.89	1.0757	122.50	1.0069	1.2728	0.7473
SYD-NY High	114.18	1.0785	122.92	1.0115	1.2775	0.7483
SYD-NY Low	113.50	1.0698	121.95	1.0050	1.2658	0.7431
NY 5:00 PM	114.02	1.0716	122.18	1.0108	1.2678	0.7462
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)		11.77/12.27	Δ25RR	0.645	Yen Call Over	
NY DOW	19,251.78	35.54	債券市場	日本2年債	-0.1910	▲1.2bp
NASDAQ	5,333.00	24.11		日本10年債	0.0500	0.9bp
S&P	2,212.23	7.52		米国2年債	1.1139	▲0.6bp
日経平均	18,360.54	85.55		米国5年債	1.8340	▲1.2bp
TOPIX	1,477.20	10.24		米国10年債	2.3887	▲0.5bp
シカゴ日経先物	18,495	55.00		独10年債	0.3730	4.0bp
ロンドンFT	6,779.84	33.01	為替市況	英10年債	1.4180	1.5bp
DAX	10,775.32	90.49		豪10年債	2.8220	2.9bp
ハンセン指数	22,675.15	169.60		USD/CNH	6.8878	0.0222
上海総合	3,199.65	▲5.06	商品市況	ドルインデックス	100.49	0.40
USDJPY 3M Vol	12.10	▲0.20%		CRB指数	192.526	▲0.95
USDJPY 6M Vol	12.39	▲0.09%		NY金	1,170.10	▲6.40
EURJPY 3M Vol	11.68	0.35%		WTI	50.930	▲0.86
EURJPY 6M Vol	13.33	0.34%		Dubai Spot	51.88	0.32

東京	東京時間のドル円は113.89レベルでオープン。高寄りした日経平均株価が上昇幅を削る動きとなると、113.50の安値をつける。正午過ぎにはRBAが政策金利の据え置きを発表したものの、市場予想通りの結果に相場への影響は限定的となった。その後、目立った材料はなかったものの日経平均株価が下げ渋って前日比プラス圏で引けたことや、2.37%台まで低下していた米10年債利回りが2.39%台まで上昇したことなどにサポートされ、ドル円は114円台を回復。東京時間高値114.13をつけた後、114.06レベルで海外に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン時間のドル円は113円台後半から114円台前半でレンジ推移。朝方は114.06レベルでオープン。序盤に発表された独10月製造業受注が前月比+4.9%と、市場予想(同+0.6%)を大きく上回る結果となり、ユーロドルが上昇。これを受けて全般的にドルが売られる中でドル円も連れ安となり、113円台後半まで下落。しかし、その後は欧州株が堅調推移する中、ユーロ円を中心にクロス円が底堅く推移。ドル円は114.18の高値をつける。ロンドン時間半ばには目立ったニュースがない中でユーロが下落した局面では、ユーロ円の下落につられてドル円も113円台半ばまで下げた。結局ドル円は113.92レベルでNYへ渡った。ポンドドルは1.2740レベルでオープンし、終始1.27台半ばを中心とした値動きとなり、1.2740レベルでNYへ渡った。(ロンドン17:00 日比野00531 444 179)
ニューヨーク	不良債権問題が懸念されていた伊大手銀行へ公的支援を用意との報道が伝わり、金融関連株を中心に欧州株式市場が全面高となるとリスク回避の動きが後退したことからドル円はロンドン時間に高値114.18まで上昇し、113.92レベルでNYオープン。発表された米10月貿易収支は貿易赤字が拡大していたものの、大方の予想通りであり市場の反応は限定的。イタリア国民投票結果も概ね消化され、ECB理事会を今週末に控えていることもあり、新規材料に欠くドル円は113.70から114.10近辺でのレンジ推移が続く。その後もトランプ次期大統領がソーシャルメディアで米大手航空会社への大統領専用機発注をキャンセルする意向を示したこと、本社大手通信会社の社長がトランプ次期大統領との会談で米国に500億ドルの投資を表明したこともあり通信関連株が上昇したが、いずれもドル円への影響は限定的となり、ドル円は114.02レベルでクロスした。一方ユーロドルは独10月製造業受注が予想を上回ると高値1.0785まで上昇し、1.0733レベルでNYオープン。朝方は1.0730近辺で小動き。その後、特段材料の無い中安値の1.0698まで下落するが、積極的に下値を追う展開とはならず、1.0718まで値を戻し、1.0716レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 佐藤・坂本

【昨日の指標等】

Date	Time		Event		結果	予想
12月6日	12:30	豪	RBAキャッシュレート	-	1.50%	1.50%
	16:00	独	製造業受注(前月比/前年比)	10月	4.9%/6.3%	0.6%/1.6%
	19:00	欧	GDP・確報(前期比/前年比)	3Q	0.3%/1.7%	0.3%/1.6%
	22:30	米	貿易収支	10月	-\$42.6B	-\$42.0B
12月7日	00:00	米	製造業受注指数	10月	2.7%	2.6%
	00:00	米	耐久財受注・確報(前月比)	10月	4.6%	3.4%

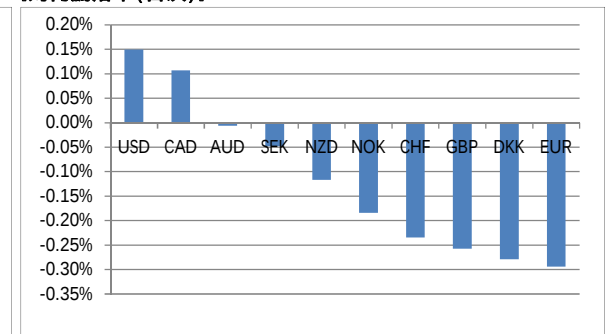
【本日の予定】

Date			Event		予想	前回
12月7日	09:30	豪	GDP(前期比/前年比)	3Q	-0.1%/2.2%	0.5%/3.3%
	16:00	独	鉱工業生産(前月比/前年比)	10月	0.8%/1.6%	-1.8%/1.2%
	18:30	英	鉱工業生産(前月比/前年比)	10月	0.2%/0.5%	-0.4%/0.3%
	18:30	英	製造業生産(前月比/前年比)	10月	0.2%/0.7%	0.6%/0.2%
	21:00	米	MBA住宅ローン申請指数	-	-	-9.4%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	113.50 - 114.50	1.0670-1.0790	121.50-123.00

【マーケットインプレッション】

昨日の海外市場でのドル/円相場はもみあいの展開。新規材料難の中、114.00を挟んで動意に乏しい展開に終始し、114.02レベルでクローズした。本日のドル/円相場は、引き続きもみあいの展開を予想する。トランプ氏当選を受けたトランブラリーは、一旦は落ち着きつつある。来週開催のFOMC控え、新規材料に乏しく、方向感に欠ける展開が続くそうだ。